

知的障がい者の現況調査 調査票集計結果概要

平成24年4月

1 調査目的

平成24年1月の白石区姉妹孤立死事案の再発を防止するため、知的障がいのある方に対して、生活の状況や民生委員への情報提供の可否等について現況調査を行いました。

調査結果につきましては、個々の回答内容から、地域等から孤立する危険性の高い方を把握し、必要に応じて地域の見守り活動につなげる等の対応を行うなど、今後の支援に役立てます。

また、調査結果の概要を市民の方と情報共有することにより、地域福祉に対する市民の関心を高めるとともに、集計データは今後の福祉施策に活用したいと考えております。

2 調査票回収状況等

実施期間

平成24年2月22日～3月29日

調査方法

郵送法（未回答者に対しては電話や訪問等により把握）

調査対象者

療育手帳の交付を受けている方で、障がい福祉サービスを受けていない18歳以上の在宅生活者1,188人

回収数

1,090件

回収率

92%

3 調査票集計結果の概要

【表1】世帯構成

全体	一人暮らし	二人暮らし	三人暮らし	四人以上
1,090人	177人	258人	335人	311人
	16%	24%	31%	29%

- 回答者の60%は三人以上で暮らしている。一人暮らしまたは二人暮らしは40%。

【表2】相談相手の有無

全体	いる	いない
1,090人	1,019人	68人
	93%	6%

- 回答者の93%は「相談相手がいる」と回答。

【表3】世帯構成と主な活動内容（複数回答あり）

		人数	仕事	買い物等	いつも家にいる
全体		1,090人	543人 50%	322人 30%	379人 35%
世帯構成	一人暮らし	177人	59人 33%	64人 36%	75人 42%
	二人暮らし	258人	126人 49%	77人 30%	97人 38%
	三人暮らし	335人	188人 56%	97人 29%	113人 34%
	四人以上	311人	169人 54%	82人 26%	92人 30%

- 回答者の50%は「仕事をしている」と回答。「いつも家にいる」は35%、「買い物や遊びに行っている」は30%となっている。
- 一人で暮らしている回答者は、「いつも家にいる」と回答した割合が高く（42%）、三人以上で暮らしている回答者は、「仕事をしている」と回答した割合が高い（55%）。

ひょう せたいこうせい そうだんあいて うむ みんせいいいん じょうほうていきょう いこう
 【表4】世帯構成・相談相手の有無と民生委員への情報提供の意向

	人数	民生委員への情報提供		民生委員の訪問		
		民生委員に 知ってほしい	知ってほしく ない	民生委員に 来てほしい	来てほしく ない	
全体	1,090人	317人 29%	745人 68%	183人 17%	882人 81%	
世帯構成	ひとり暮らし	177人	61人 35%	107人 61%	40人 23%	129人 73%
	ふたり暮らし	258人	88人 34%	160人 62%	52人 20%	200人 78%
	さんにん暮らし	335人	84人 25%	248人 74%	41人 12%	289人 86%
	よにん暮らし	311人	83人 27%	223人 72%	49人 16%	257人 83%
	いじょう以上					
相談相手	相談相手 いる	1,019人	289人 28%	705人 70%	167人 16%	830人 82%
	相談相手 いない	68人	28人 41%	38人 56%	16人 24%	50人 74%

- 回答者の17%は「民生委員の人に家に来てほしい」と回答。
- 「民生委員に自分の家に来てほしい」と回答した人の割合は、三人以上で暮らしている回答者よりも、一人または二人で暮らしている回答者の方が高い。
- 「民生委員に自分のことを知ってほしい」と回答した人の割合は、相談相手が「いる」という回答者よりも、「いない」という回答者の方が高い。